

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

		本調査票の記入日： 令和 6 年 10 月 19 日	
設置・運営主体	一般社団法人さんぴこ保育園		
設置主体			
経営主体	一般社団法人さんぴこ保育園		
事業所名 (施設名)	さんぴこ保育園	種別	保育所
所在地	〒 341-0003 埼玉県三郷市彦成 1 丁目 100 番地		
電 話	048-960-0145		
FAX	048-960-0146		
Email	m.sanpiko-little2015@sanpiko.com		
U R L	https://sanpiko.com/		
施設長氏名	根津 良子		
調査対応担当者	根津 良子 (所属、職名：園長)		
利用定員	19 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
【保育理念】 1. 一人ひとりの成長にあった保育を行っていきます 2. 保護者が安心して子どもを預けられるよう「利用者本位」となり相互に信頼関係を築いていきます 3. 地域における社会情緒に目を向け子育て支援を行っていきます 【保育方針】 1. 子ども一人ひとりが主役になれる保育園 2. 「安心」「安全」「愛情」を子ども・保護者に与えられる保育園 3. 地域の方と共に成長できる保育園			
開所時間 (通所施設のみ)	月～金 7:00～19:00 土 7:00～18:30		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児	9	8	1		3
2歳児	10	11	1		3
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	19	19	2	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		8人	
うち	保育士	6人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	2人	その他（ ）人
非常勤職員数		4人	（常勤換算 3人）
うち	保育士	2人	（常勤換算 1人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）
	栄養士・調理員	0人	（常勤換算 0人）
	その他（ ）	1人	（常勤換算 0.4人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 1人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		42歳	（ 42歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		4.4年	（ 4.4年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

・令和 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

・ボランティアの業務

【参加型ボランティア】

保育内容に参加し、子どもと一緒に過ごす。指示に従い助手的な立場で手伝う。

- (1) 保育の準備や環境設定
- (2) 生活指導の補助
- (3) 遊びへの積極的な参加

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	172.52 m ²	
	児童 1 人あたり	9.08 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	73 m ²	
	児童 1 人あたり	6.6 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☐ 1. はい ☒ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年	平成	27 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

保育園において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・毎日の連絡帳のやり取り (体調・連絡事項)
- ・全園児対象：各クラス定期面談、随時個人面談を行い、家庭や保育園での子どもの様子の共有や子育てについての悩み相談、ご意見等も誠実に対応する
- ・1年に一回の三郷市役所の利用者アンケート
- ・1年に一回の嗜好調査アンケート、施設利用満足度アンケート実施、結果を公表周知を図る
- ・普段の登園降園時の何気ない会話の中での利用者のご意見も切実に対応する

【その他特記事項】

保育園の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ①乳幼児期は保育士との愛着形成が大切であり、これは日常的な世話をしてくれる人に対しての「絆」の事です。当園では、子ども一人ひとりとの深い関わりを大切に一人ひとりの個性に合った、こまやかな対応を心掛けていきます。
- ②子どもたちが色々な遊具を手に取りやすくし、家庭のような居心地の良い環境作りを心掛けていきます。
- ③1・2歳クラスは園外から専門の講師を招き月に2回リトミック行います。音楽に合わせて歩く・跳ぶ・止まるなど基本的な運動神経を促し、色・形など知育的な活動を通して音楽を耳で聴く力や、リズム感を養います。
- ④幼児クラスは月1回、園外から体操講師を招き体操指導を行い、マット運動・鉄棒・跳び箱などを行いながら全身を使った体操プログラムを行っていきます。
- ⑤幼児クラスは英語を月2回行います。園外からECCの講師を招き、日本語以外の言葉・音楽に触れ、異文化交流を行い、子どもの世界観を広げます。
- ⑥子どもたちが元気に育つには「食」が大切です。当園では自園調理により食べ物を作ってくれた人への感謝、また自園菜園で育てた野菜を食べる事で「食」への意欲感を感じることで体のみならず心も育てる食育を行っていきます。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数 (前回の受審時期)

3 回 (平成 3 年度)